

平成30年度 自己評価・学校関係者評価 報告書 (渉外部)

岐阜県立岐阜本巣特別支援学校

学校番号

105

自己評価

学校教育目標	<ul style="list-style-type: none"> ・夢の実現に向け自ら学び自ら考え、生き生きと表現できる児童生徒を育てる。 ・心のふれ合いを大切にし、自他共に尊重できる児童生徒を育てる。
--------	---

評価する領域・分野	保護者、地域との連携
現状及びアンケートの結果分析等	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度はアンケート内容が変わり、昨年度と比較できる対象がない。 ・「ゆめフェスタPTAバザーは、学校に協力できるよい取組である」については、ゆめフェスタ実施前のアンケート結果であるため新入生にとっては分からないとの回答があるのは仕方がないと思われる。その中にあり、82% (分からないを母数から除けば89%) の高評価を得ている。PTAが意欲的に活動していることの表れであると考えられる。 ・今年度初めての質問項目「親子防災教室は、児童生徒に応じた体験や学習ができるよい行事である」については、行事の欠席者と新入生で行事実施前にアンケートを提出した人数と「分からない」と回答した人数比が比例しているかは不確定だが、全体の80%に高評価を得ている。防災安全部との共同で行っている行事であるが、継続的に行っていることで保護者及び児童生徒の防災意識を高める体験や学習として位置づいていると思われる。
今年度の具体的かつ明確な重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA活動全般の企画・運営が円滑に行われるよう学校と保護者の連携を密にして相互理解を深めるとともに、広報活動の工夫をする。 ・同窓会会員相互の連携を深めるよう 同窓会の活動を支援する。 ・関係諸団体及び関係諸機関との連携を図り、それぞれの運営に参加・協力する。
重点目標を達成するための校内組織体制	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA活動ごとに担当職員を置き、保護者と連絡を取りながら活動を推進する。 ・PTAだよりや学校ホームページで実施する事業やボランティア協力について掲載する。 ・同窓会や後援会の役員と連携を取りながら同窓会活動の企画運営を行う。 ・地域や関係機関、県内特別支援学校に対して本校の情報を発信し、本校への理解を得る。
目標の達成に必要な具体的取組	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA研修会の開催、PTAだよりの発行、ベルマーク収集作業、10周年記念事業バザー等を実行委員会中心に実施する。 ・PTA事業案内を学校ホームページへ掲載したり、研修案内を県内特別支援学校や通学区の市町に配付したり、ボランティアに来ていただいた方へ広報をしたりする。 ・同窓会だよりの発行および同窓会役員会3回、同窓会総会、同窓会&成人を祝う会の企画運営を役員中心で行えるように推進する。 ・活動に協力いただける関係機関等に、細かな連絡を取り合い、丁寧な対応や働きかけをする。
達成度の判断・判定基準あるいは指標	<ul style="list-style-type: none"> ・PTAおよび同窓会の活動が年間計画に沿って充実してできたか。 ・関係諸団体及び関係諸機関と連携・協力をして活動ができたか。情報の発信により、外部からの参加やボランティアの協力が得られたか。
取組状況・実践内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者と連携を密にしてPTA研修会開催、PTAだより発行、ベルマーク収集作業、10周年記念事業バザー等を実行委員会中心に実施した。 ・同窓会および後援会役員と連携を取り、同窓会役員会3回、同窓会総会、同窓会&成人を祝う会の企画運営と同窓会だよりの発行を行った。 ・関係機関と連携を取り、事業を企画運営したり、地域や県内特別支援学校に情報発信したりした。

評価の視点	評価
① PTA実行委員と連携を密にして、計画した活動を円滑に実施できたか。	Ⓐ B C D
② 役員相互が話し合っ同窓会&成人を祝う会を企画運営できるように、連携を取り合い支援できたか。	A Ⓑ C D
③ 関係諸団体及び関係諸機関等へ情報を発信し、外部からの参加者を募ったり、ボランティアの依頼したりして本校への理解を図れたか。	A Ⓑ C D

成果・課題	総合評価
<ul style="list-style-type: none"> ○PTA実行委員と活動内容や運営方法等の打ち合わせを密に行い、相互理解を深めながら積極的に活動を進めることができた。 ○同窓会および後援会役員と連携して、役員主体に同窓会活動が行えるように支援することができた。 ○親子防災教室や10周年記念事業では、地域や関係機関と連携を取り、事業を企画し、協力して運営ができた。PTA研修会や学校行事では、地域や県内特別支援学校に情報発信をし、外部から多くの参加者やボランティアが来てもらった。 ▲PTA研修会等では、参加者が年々減ってきたものがある。PTA役員の業務負担とともに、一般会員のニーズに伴い、今後、PTA行事の在り方を見直していく必要がある。 	A Ⓑ C D

来年度に向けての改善方策案	<ul style="list-style-type: none"> ・PTAが主体的に活動を実施できるように支援する。PTA行事やPTA実行委員会の在り方を見直していく。 ・同窓会後援会役員のメンバー構成変更にともない、成人を祝う会の運営方法や活動内容を継承しつつ、会員が一層主体的に活動できるように支援する。 ・関係諸団体及び関係諸機関に本校の情報を積極的に発信する。
---------------	---

学校関係者評価 (平成31年2月7日実施)

意見・要望・評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA 役員、地域、関係機関と教員が連携して活発に活動されていると思います。負担増にならないようスリム化も検討してください。
-----------	---

